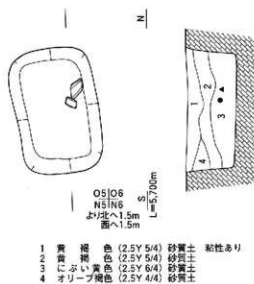


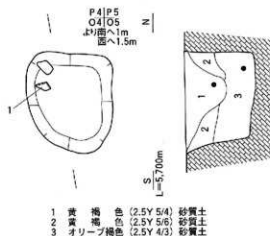
第153图 SA3012 平面图



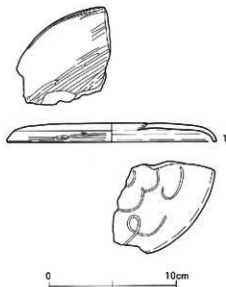
第154図 SA3012・EP10 遺物出土状況図



第156図 SA3012・EP2 出土遺物



第155図 SA3012・EP16 遺物出土状況図



第157図 SA3012・EP16 出土遺物

時期 周囲の建物配置などから奈良時代～平安時代と考えられる。

7号掘立柱建物跡 (SA3007) (第145図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢ・M7・8グリッド

形態・規模 小穴4基で構成される柵列である。主軸方向はN-87°-Eである。

土層 4～5層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 周囲の建物配置などから奈良時代～平安時代と考えられる。

8号掘立柱建物跡 (SA3008) (第146図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢ・M6・7・N6・7グリッド

形態・規模 梁間2間(2.0m)×桁行2間(2.5m)、床面積約5.0㎡の榑柱建物である。建物の主軸方向はN-58°-Wである。

土層 3～4層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 周囲の建物配置などから奈良時代～平安時代と考えられる。

9号掘立柱建物跡 (SA3009) (第147～149図)

検出場所 1999年度調査2-1区 Loc.G1・αⅢ・L6・7・M6・7グリッド

形態・規模 梁間2間(3.9m)×桁行3間(4.5m)、床面積約17.6㎡の総柱建物である。建物の主軸方向はN-3°-Wである。

土層 2～3層に分層され、EP3・12から根石と見られる石が検出されている。

遺物出土状況 EP3・12の2層上面を中心として結晶片岩の板状剥片が検出されており、根石と考えられる。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 周囲の建物配置などから奈良時代～平安時代と考えられる。

10号掘立柱建物跡 (SA3010) (第150図)

検出場所 1999年度調査2-1区 Loc.G1・αⅢ・L5・M5グリッド

形態・規模 梁間2間(3.25m)×桁行3間(3.5m)、床面積約11.4㎡の総柱建物である。建物の主軸方向はN-5°-Wである。

土層 2～3層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 周囲の建物配置などから奈良時代～平安時代と考えられる。

11号掘立柱建物跡 (SA3011) (第151・152図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢ・N5・6グリッド

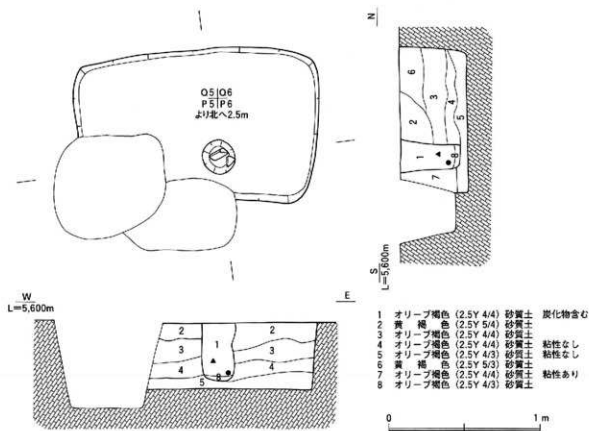
形態・規模 梁間2間(3.2m)×桁行3間(3.5m)、床面積約11.2㎡の総柱建物である。建物の主軸方向はN-2°-Wである。

土層 2～4層に分層され、EP9からは根石とみられる石が検出されている。

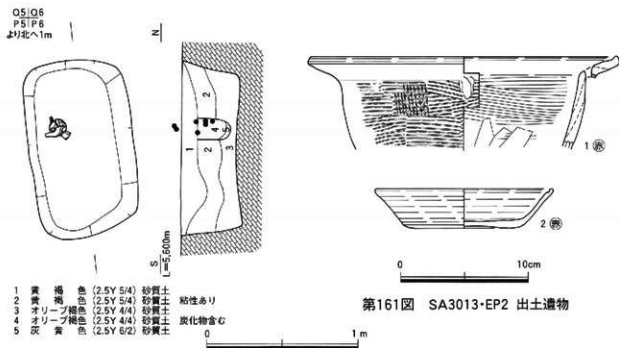
遺物出土状況 EP9の2層より上層を中心に結晶片岩の板状剥片が出土しており、根石であると考えられる。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 周囲の建物配置などから奈良時代～平安時代と考えられる。

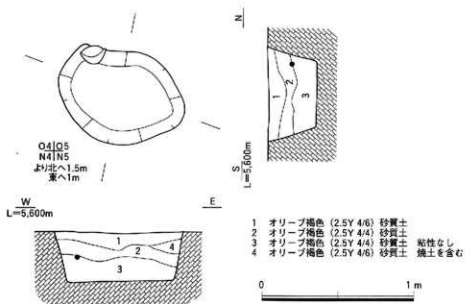


第159図 SA3013-EP1 遺物出土状況図

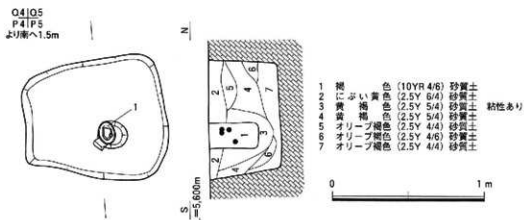


第161図 SA3013-EP2 出土遺物

第160図 SA3013-EP2 遺物出土状況図



第162図 SA3013-EP9 遺物出土状況図



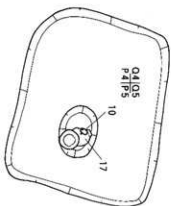
第163図 SA3013-EP12 遺物出土状況図



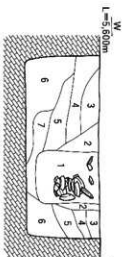
第164図 SA3013-EP12 出土遺物



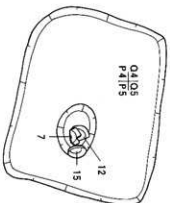
(その1)



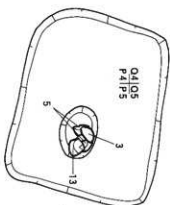
(その2)



- | | | | | | |
|---|---|---|------------|-----|-------|
| 1 | 埋 | 色 | (10YR 4/6) | 砂質土 | |
| 2 | 埋 | 色 | (2.5Y 5/4) | 砂質土 | しまりあり |
| 3 | 埋 | 色 | (2.5Y 5/4) | 砂質土 | 粘性あり |
| 4 | 埋 | 色 | (2.5Y 4/4) | 砂質土 | |
| 5 | 埋 | 色 | (2.5Y 4/3) | 砂質土 | |
| 6 | 埋 | 色 | (2.5Y 5/4) | 砂質土 | |
| 7 | 埋 | 色 | | | |



(その3)

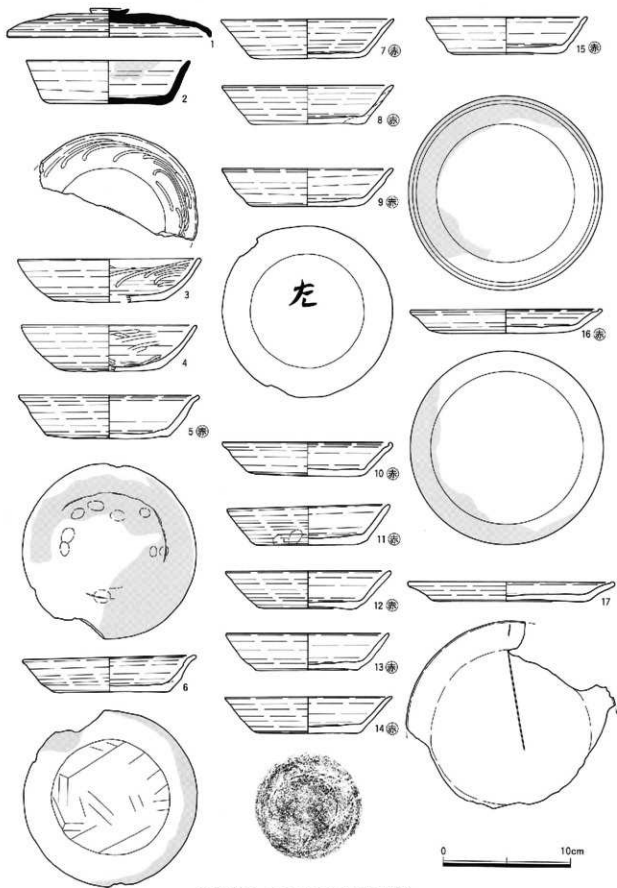


(その4)

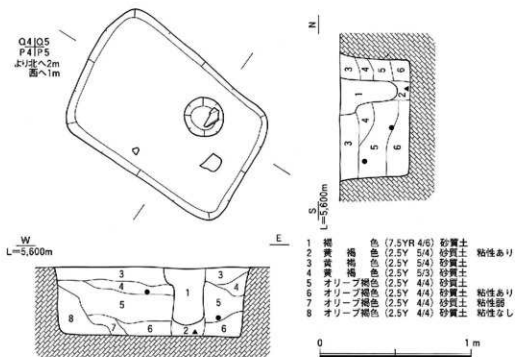


(その5)

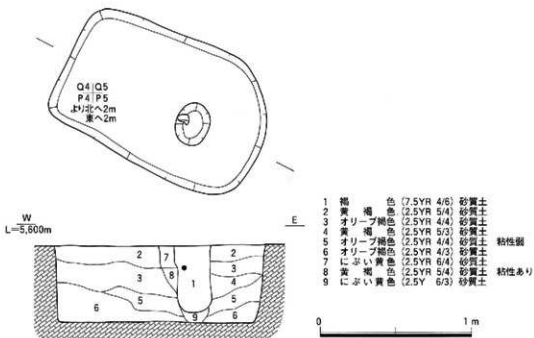
第165図 SA3013-EP13 遺物出土状況図



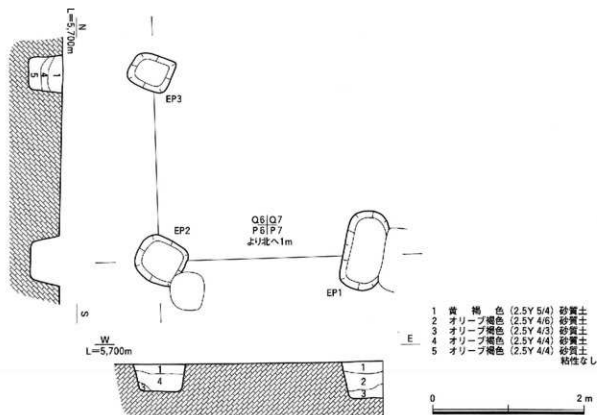
第166図 SA3013・EP13 出土遺物



第167図 SA3013・EP14 遺物出土状況図



第168図 SA3013・EP15 遺物出土状況図



第170図 SA3015 平面図

12号掘立柱建物跡 (SA3012) (第153～157図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢ・N4・O4・5・P4・5・Q4・5グリッド
 形態・規模 梁間1間(4.5m)×桁行5間(10.0m)、東側に底部をもつ。床面積約45㎡の掘立柱建物である。建物の主軸方向はN-5°-Wである。

土層 2～5層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 EP10・12・16などから埋土中より土器が出土している。

出土遺物 第156図1はEP12出土の須恵器の杯身である。第157図1はEP16出土の土師器の蓋である。

時期 建物配置や柱内の出土遺物などから奈良時代以降と考えられる。

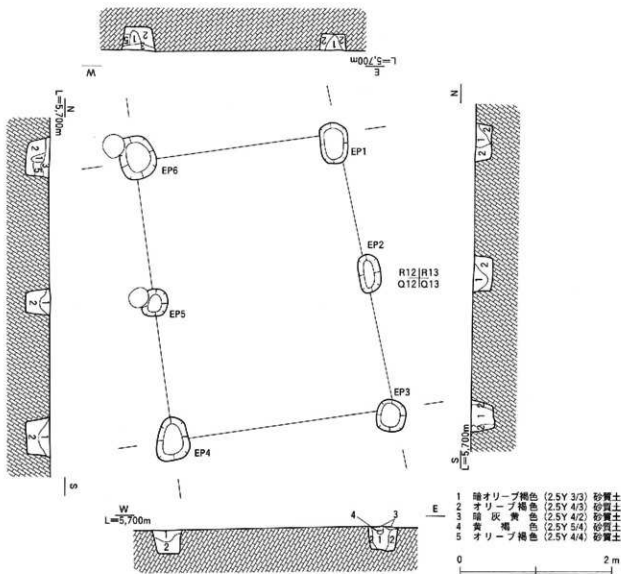
13号掘立柱建物跡 (SA3013) (第158～168図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢ・O4・5・P4・5・Q4・5グリッド

形態・規模 梁間2間(5.0m)×桁行5間(9.7m)、床面積約48.5㎡の掘立柱建物である。建物の主軸方向はN-7°-Wである。

土層 2～12層に分層され、根石などは検出されていない。EP1・2・12～15では柱の抜き取り痕跡より、炭化物、焼土が検出されている。

遺物出土状況 各ピットの柱痕抜き取り跡より土器が検出されている。EP12内からは完形の皿、EP13内からは完形および全体の半分以上の大きさの杯、皿が15個体前後、それぞれ出土している。



第171図 SA3016 平面図

出土遺物 第161図1はEP2出土の土師器の甕である。2は土師器の杯である。第164図1はEP12出土の土師器の皿である。第166図1はEP13出土の須恵器の甕である。2は須恵器の杯である。3～15は土師器の杯である。3、4は内面にヘラミガキが施されている。6は内外面に煤の付着がみとめられる。9は最下層から出土しており、外面底部に「左」の墨書がある。16・17は土師器の皿である。16は内外面に煤の付着が認められる。17は外面底部に刻書がみられる。

時期 建物配置や柱内の出土遺物などから奈良時代～平安時代と考えられる。

14号掘立柱建物跡 (SA3014) (第169図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢ・P6・7・8・Q6・7・8グリッド

形態・規模 梁間2間(4.25m)×桁行4間(6.75m・残存値)、床面積約28.7㎡(残存値)の掘立柱建物である。建物の主軸方向はN-0°-Wである。北側および東側は調査区外に延びている。



W
L=5,600m

E

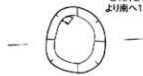


1 暗オリーブ褐色 (2.5Y 3/3) 砂質土
2 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土

0 1 m

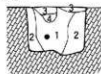
第172図 SA3016・EP1 遺物出土状況図

R12/R13
Q12/Q13
より南へ1.5m



W
L=5,600m

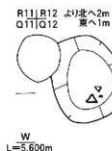
E



1 暗オリーブ褐色 (2.5Y 3/3) 砂質土
2 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土
3 暗灰黄色 (2.5Y 4/2) 砂質土
4 黄褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土

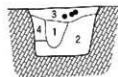
0 1 m

第173図 SA3016・EP3 遺物出土状況図



W
L=5,600m

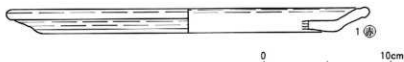
E



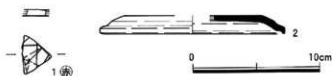
1 暗オリーブ褐色 (2.5Y 3/3) 砂質土
2 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土
3 暗灰黄色 (2.5Y 4/2) 砂質土
4 オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) 砂質土

0 1 m

第174図 SA3016・EP4 遺物出土状況図



第175図 SA3016・EP4 出土遺物



第176図 SA3016・EP6 出土遺物

土層 3～8層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 周囲の建物配置などから奈良時代～平安時代と考えられる。

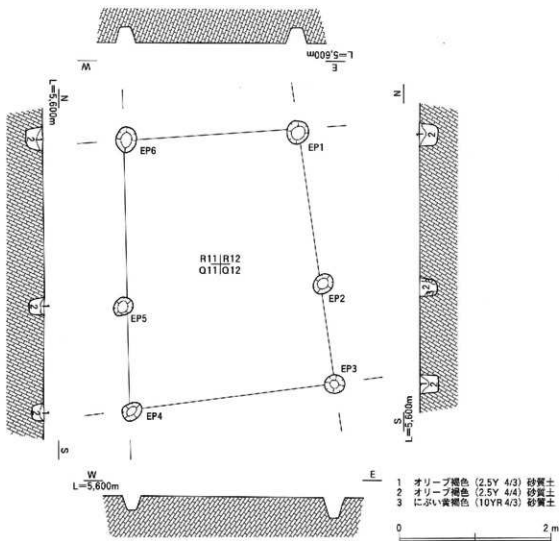
15号掘立柱建物跡 (SA3015) (第170図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢ・Q6・7グリッド

形態・規模 梁間1間(2.5m・残存値)×桁1間(残存値)の掘立柱建物である。建物の主軸方向はN-88°-Eである。北側および東側は調査区外に延びている。

土層 3層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。



第177図 SA3017 平面図

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 周囲の建物配置などから奈良時代～平安時代と考えられる。

16号掘立柱建物跡 (SA3016) (第171～176図)

検出場所 1998年度調査6区 Loc.G1・αⅢ・Q12・R12グリッド

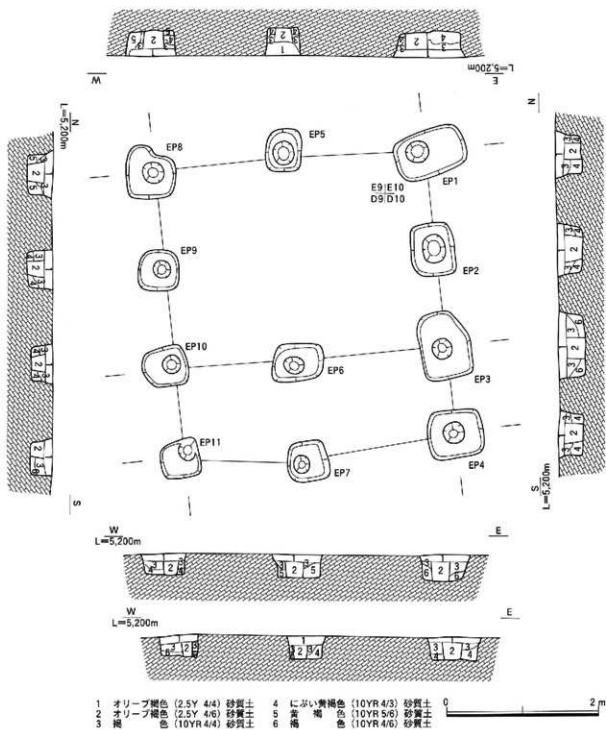
形態・規模 梁間1間(2.9m)×桁行2間(3.75m)、床面積約10.9㎡の側柱建物である。建物の主軸方向はN-12°-Wである。

土層 2～4層に分層され、根石などは検出されていない。

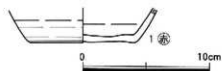
遺物出土状況 EP1・3・4・6から埋土中より土器片が出土している。

出土遺物 第175図1はEP4出土の土師器の皿である。第176図1はEP6出土の土師器の杯である。外面底部に刻書をもつ。2は須恵器の蓋である。

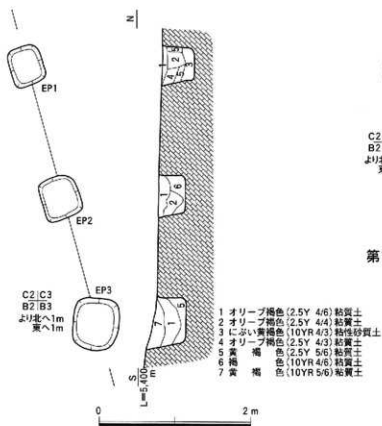
時期 柱内の出土遺物などから奈良時代～平安時代と考えられる。



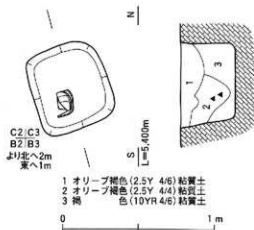
第178図 SA3018 平面図



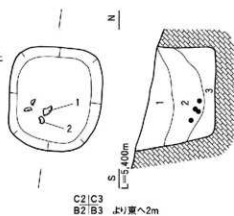
第179図 SA3018・EP5 出土遺物



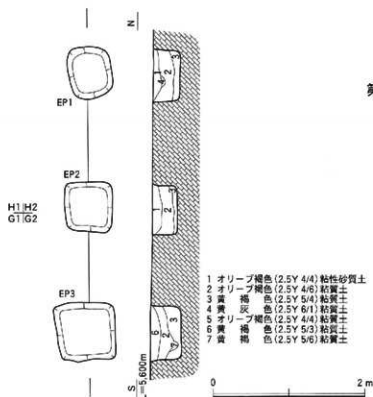
第180図 SA3019 平断面図



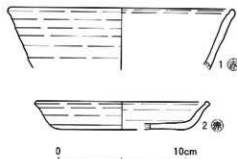
第181図 SA3019・EP2 遺物出土状況図



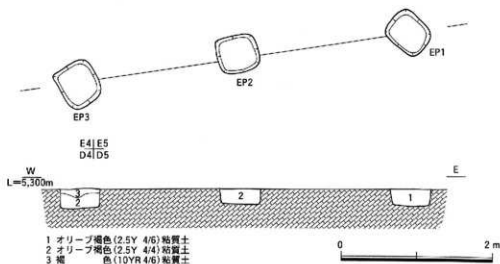
第182図 SA3019・EP3 遺物出土状況図



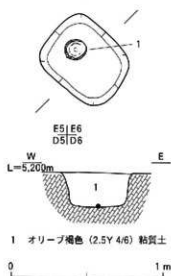
第184図 SA3020 平断面図



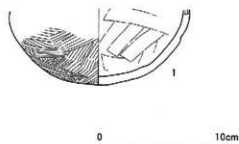
第183図 SA3019・EP3 出土遺物



第185図 SA3021 平面図



第186図 SA3021-EP1 遺物出土状況図



第187図 SA3021-EP1 出土遺物

17号掘立柱建物跡 (SA3017) (第177図)

検出場所 1998年度調査6区 Loc.G1・αⅢ・Q11・12・R11・12グリッド

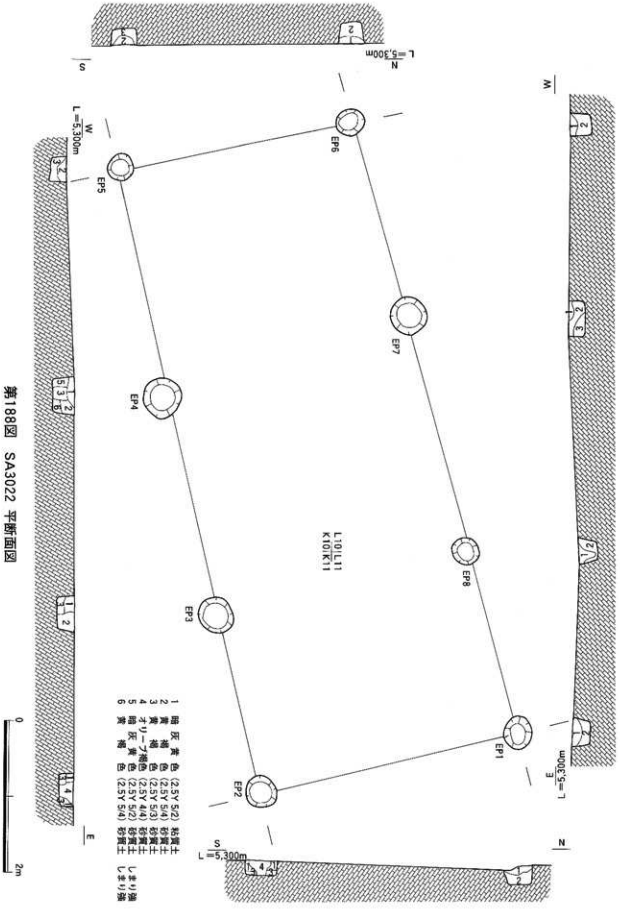
形態・規模 梁間1間(2.7m)×桁行2間(3.6m)、床面積約9.7㎡の側柱建物である。建物の主軸方向はN-12°-Wである。

土層 2～3層に分層され、根石などは検出されていない。

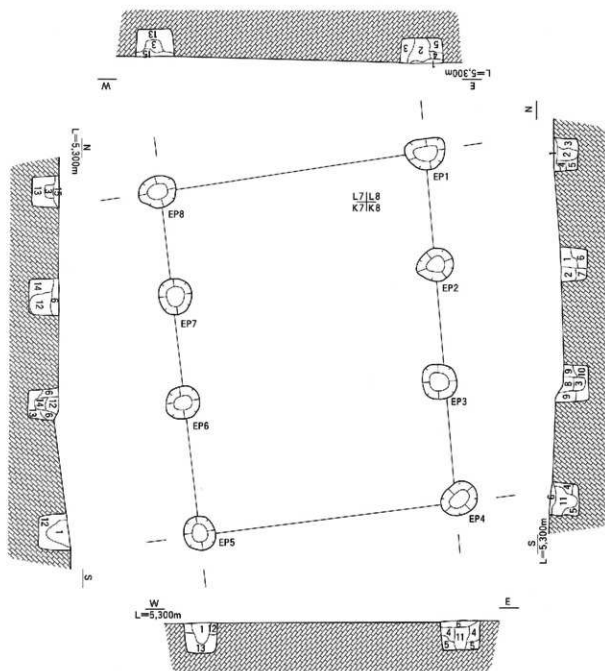
遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。



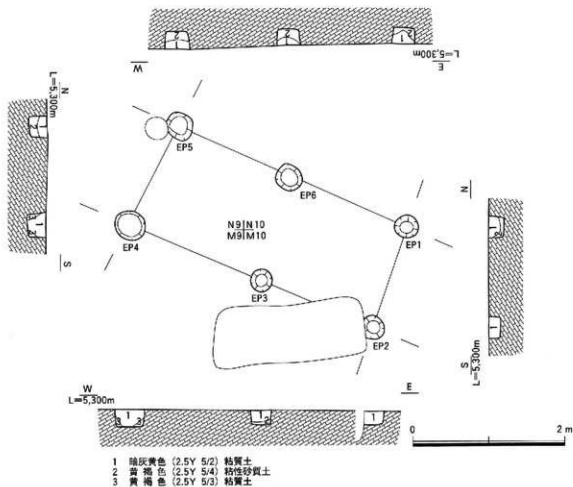
第188图 SA3022 平面断面图



- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1 灰 黄 色 (2.5Y 6/2) 砂質土 | 9 黄 緑 色 (2.5Y 5/3) 砂質土 |
| 2 にぶい黄褐色 (10YR 6/3) 粘質土 | 10 黄 緑 色 (2.5Y 5/4) 砂質土 |
| 3 オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) 砂質土 | 11 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 砂質土 |
| 4 褐色 (10YR 4/4) 粘性砂質土 | 12 灰 黄 褐色 (10YR 6/2) 砂質土 |
| 5 にぶい黄褐色 (10YR 6/4) 粘質土 | 13 暗 灰 黄 色 (2.5Y 5/2) 粘性砂質土 |
| 6 にぶい黄褐色 (2.5Y 6/4) 砂質土 | 14 オリーブ褐色 (2.5Y 4/6) 砂質土 |
| 7 褐色 (10YR 4/6) 砂質土 | 15 にぶい黄褐色 (10YR 5/3) 砂質土 |
| 8 灰 黄 褐色 (10YR 5/2) 粘質土 | |

0 2m

第189図 SA3023 平面図



第190図 SA3024 平面図

18号掘立柱建物跡 (SA3018) (第178・179図)

検出場所 1998年度調査6区 Loc.G1・βⅢ・D9・10・E9・10グリッド

形態・規模 梁間2間(2.5m)×桁行2間(3.5m)、南側に庇部をもつ。床面積約8.6m²の欄柱建物である。建物の主軸方向はN-7°-Wである。

土層 4～5層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

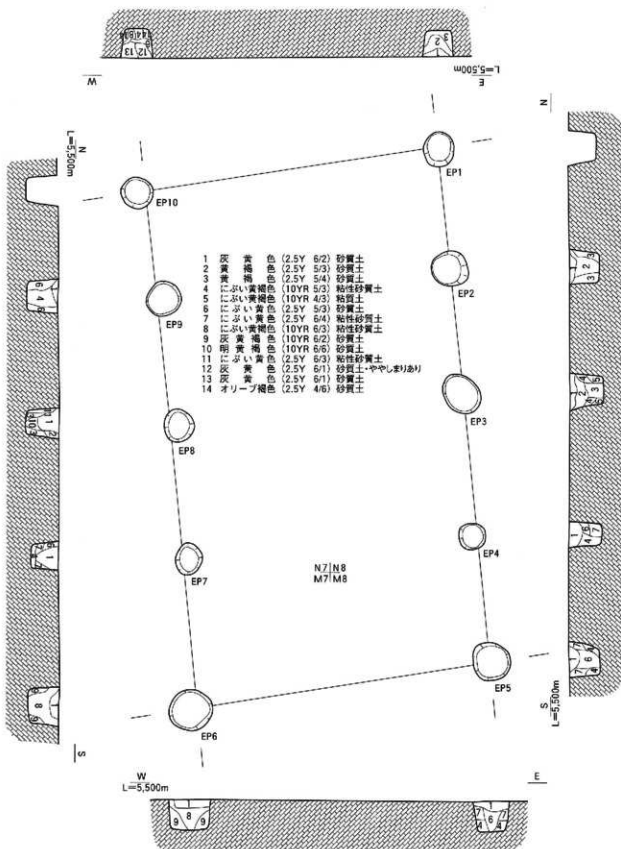
出土遺物 1は上師器の杯である。

時期 出土遺物から古代以降と考えられる。

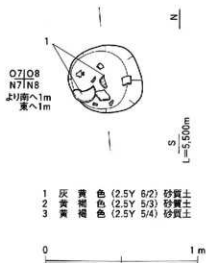
19号掘立柱建物跡 (SA3019) (第180～183図)

検出場所 1999年度調査4区 Loc.G1・βⅢ・C3グリッド

形態・規模 小穴3基で構成される横列である。主軸方向はN-16°-Wである。

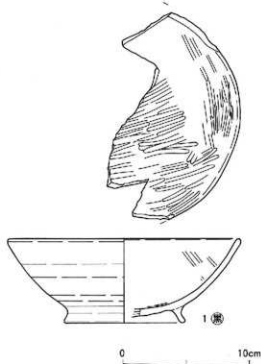
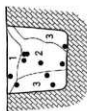


第191図 SA3025 平断面図



第192図 SA3025-EP2 遺物出土状況図

- 1 灰 青 色 (2.5Y 6/2) 砂質土
 2 黄 褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土
 3 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土



第193図 SA3025-EP2 出土遺物

土層 3層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 EP2・3の2層を中心として遺物が検出されている。

出土遺物 1は土師器の杯である。2は土師器の皿である。

時期 柱内の出土遺物から平安時代と考えられる。

20号掘立柱建物跡 (SA3020) (第184図)

検出場所 1999年度調査4区 Loc.G1・βⅢ・G1・2・H1・2グリッド

形態・規模 小穴3基で構成される欄列である。主軸方向はN-0°-Wである。

土層 3～4層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

21号掘立柱建物跡 (SA3021) (第185～187図)

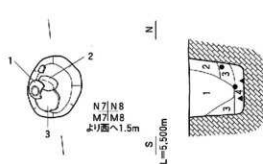
検出場所 1999年度調査4区 Loc.G1・βⅢ・E4・5グリッド

形態・規模 小穴3基で構成される欄列である。主軸方向はN-0°-Wである。

土層 1～2層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 EP1底部より遺物が検出されている。

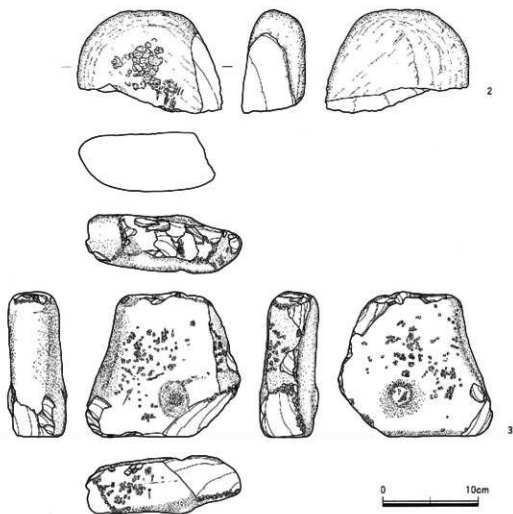
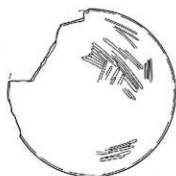
出土遺物 1は土師器の甕である。



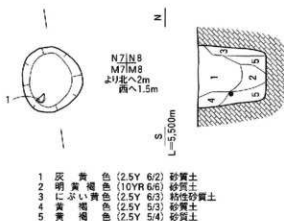
- 1 灰黄色 (2.5Y 6/2) 砂質土
 2 にぶい黄色 (2.5Y 5/3) 砂質土
 3 にぶい黄色 (2.5Y 5/4) 砂質土
 4 にぶい黄褐色 (2.5Y 5/3) 粘性砂質土



第194図 SA3025・EP7 遺物出土状況図



第195図 SA3025・EP7 出土遺物

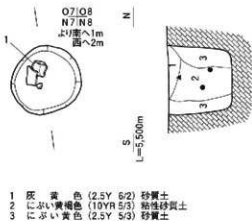


第196図 SA3025・EP8 遺物出土状況図

- 1 灰黄色 (2.5Y 6/2) 砂質土
- 2 明黄色 (10YR 6/6) 砂質土
- 3 にぶい黄色 (2.5Y 6/3) 粘性砂質土
- 4 黄褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土
- 5 黄褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土

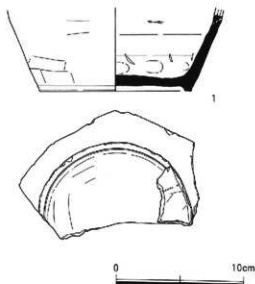


第197図 SA3025・EP8 出土遺物



第198図 SA3025・EP9 遺物出土状況図

- 1 灰黄色 (2.5Y 6/2) 砂質土
- 2 にぶい黄褐色 (10YR 5/3) 粘性砂質土
- 3 にぶい黄色 (2.5Y 5/3) 砂質土



第199図 SA3025・EP9 出土遺物

時期 古墳時代以降と考えられる。

22号掘立柱建物跡 (SA3022) (第188図)

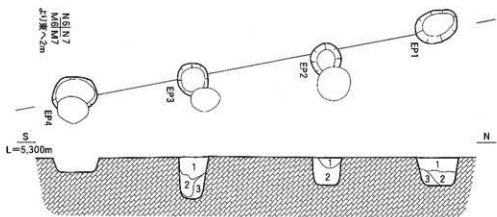
検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βⅢ・K9・10・11・L9・10・11グリッド

形態・規模 梁間1間 (3.25m) × 桁行3間 (8.4m)、床面積約27.3㎡の側柱建物である。建物の主軸方向はN-75°-Eである。

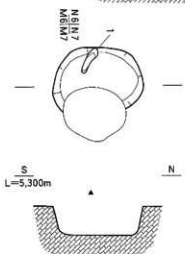
土層 2～5層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

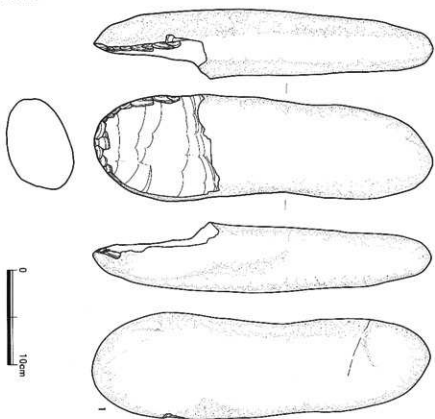
出土遺物 図示できるものは存在していない。



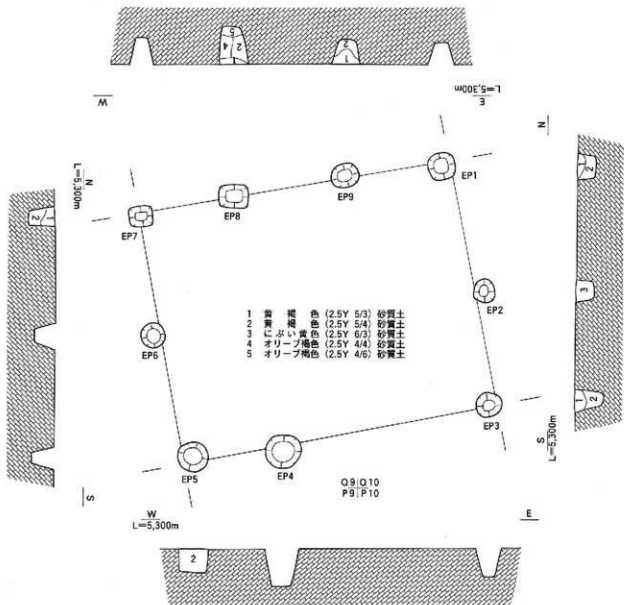
第200図 SA3026 平断面図



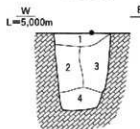
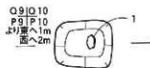
第201図 SA3026-EP4 遺物出土状況図



第202図 SA3026 - EP4 出土遺物



第203図 SA3027 平断面図

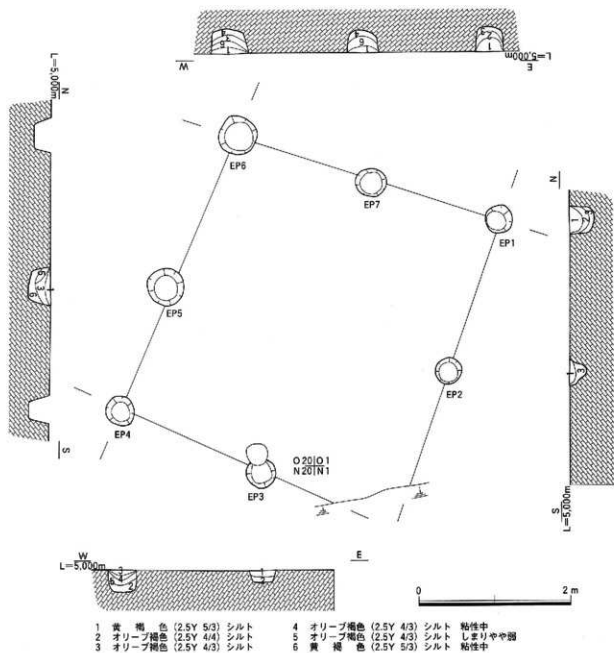


- | | | |
|---|-------------------|-----|
| 1 | 黄褐色 (2.5Y 5/3) | 砂質土 |
| 2 | オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) | 砂質土 |
| 3 | 黄褐色 (2.5Y 5/4) | 砂質土 |
| 4 | オリーブ褐色 (2.5Y 4/6) | 砂質土 |



第204図 SA3027・EP8 遺物出土状況図

第205図 SA3027・EP8 出土遺物



第206図 SA3028 平面図

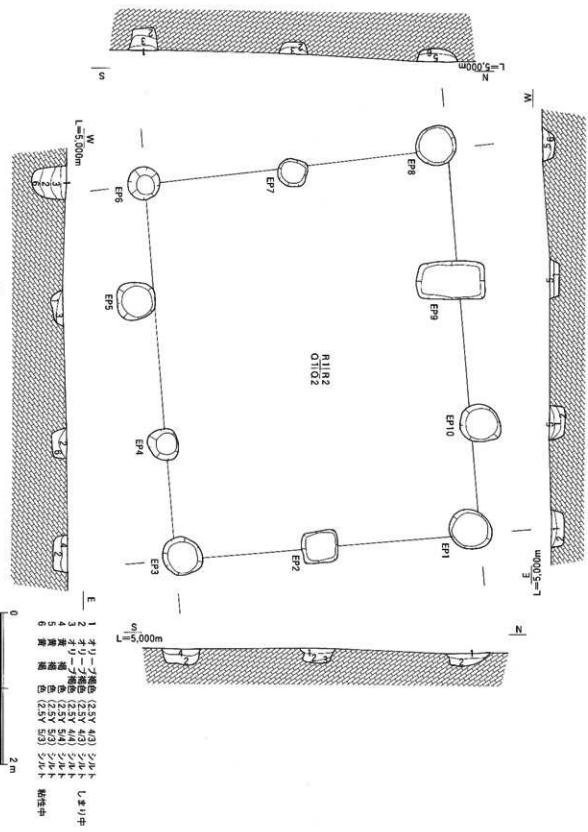
時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

23号掘立柱建物跡 (SA3023) (第189図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βⅢ・K7・8・L7・8グリッド

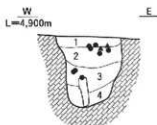
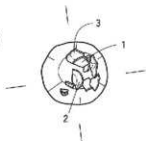
形態・規模 梁間1間 (3.6m) × 桁行3間 (4.8m)、床面積約12.3㎡の掘立柱建物である。建物の主軸方向はN-5°-Wである。

土層 2～5層に分層され、根石などは検出されていない。



第207図 SA3029 平面図

R20|R1
Q20|Q1
より南へ2m
東へ2m

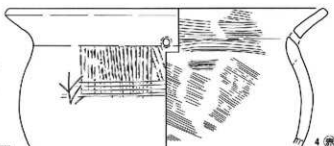


- 1 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) シルト
2 オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) シルト
3 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) シルト
4 黄褐色 (2.5Y 5/3) シルト

しまり中
粘性中

0 1m

第208図 SA3029・EP6 遺物出土状況図



0 10cm

第209図 SA3029・EP6 出土遺物

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

24号掘立柱建物跡 (SA3024) (第190図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βⅢ・M9・10・N9・10グリッド

形態・規模 梁間1間(1.5m)×桁行2間(3.3m)、床面積約4.95㎡の側柱建物である。建物の主軸方向はN-66°-Wである。

土層 1～2層に分層され、根石などは検出されていない。

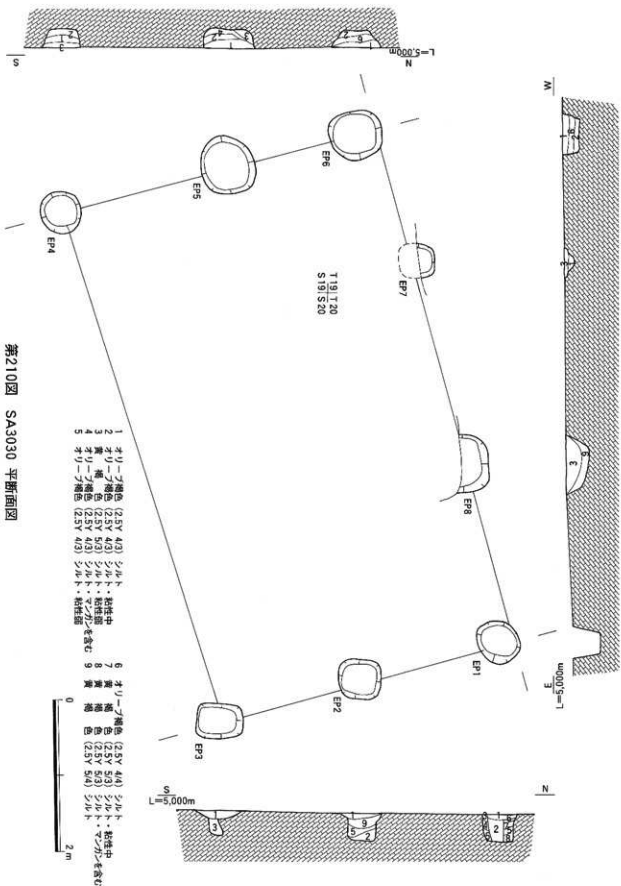
遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

25号掘立柱建物跡 (SA3025) (第191～199図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βⅢ・M7・8・N7・8・O7・8グリッド



第210図 SA3030 平面図



第211図 SA3030・EP1 出土遺物

形態・規模 梁間1間(4.0m)×桁行4間(6.8m)、床面積約27.2㎡の側柱建物である。建物の主軸方向はN-7°-Wである。

土層 3～7層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 EP2・7・8・9からそれぞれ遺物が検出されている。

出土遺物 第193図1はEP2出土の黒色土器の碗である。第195図1はEP7出土の黒色土器の碗である。2は砂質片岩の白石である。3は砂岩の凹石である。第197図1はEP8出土の土師器の碗である。第199図1はEP9出土の須恵器の甕である。

時期 柱内の出土遺物から平安時代と考えられる。

26号掘立柱建物跡 (SA3026) (第200～202図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・αⅢ・M7・N7グリッド

形態・規模 小穴4基で構成される横列である。主軸方向はN-10°-Wである。

土層 2～3層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 EP4検出面上面より遺物が出土している。

出土遺物 1は砂質片岩の敲石である。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

27号掘立柱建物跡 (SA3027) (第203～205図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢ・Q9・10グリッド

形態・規模 梁間2間(3.25m)×桁行3間(4.0m)、床面積約13.0㎡の側柱建物である。建物の主軸方向はN-80°-Eである。

土層 1～4層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 EP8検出面上面より遺物が出土している。

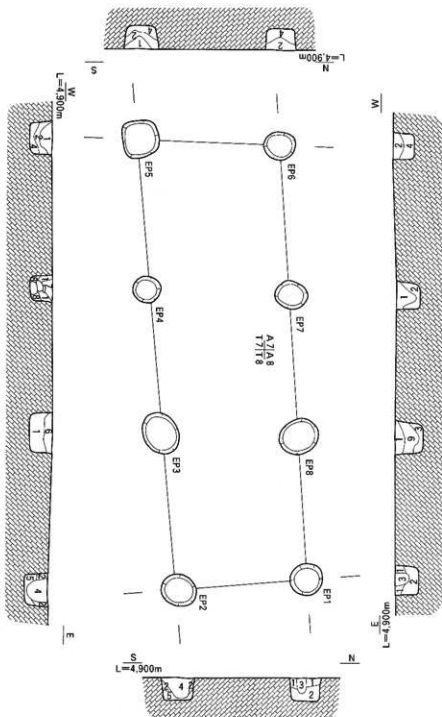
出土遺物 1は土師器の杯である。

時期 柱内の出土遺物から平安時代と考えられる。

28号掘立柱建物跡 (SA3028) (第206図)

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・βⅡN20・O20・βⅢ・N1・O1グリッド

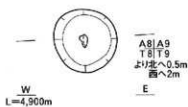
形態・規模 梁間2間(3.6m)×桁行2間(4.0m)、床面積約14.4㎡の側柱建物である。建物の主軸



- | | | | | |
|---|---|-----|------------|-------|
| 1 | 黄 | 褐色 | (2.5Y 5/4) | 粘質土 |
| 2 | シ | 黄褐色 | (2.5Y 6/4) | 粘質土 |
| 3 | フ | 黄褐色 | (2.5Y 4/6) | 粘質砂壤土 |
| 4 | 黄 | 褐色 | (2.5Y 5/3) | 粘質土 |
| 5 | 黄 | 褐色 | (10YR 4/4) | 粘質砂壤土 |

- | | | | | |
|---|---|-----|------------|-----|
| 6 | 黄 | 褐色 | (2.5Y 5/6) | 粘質土 |
| 7 | シ | 黄褐色 | (10YR 5/6) | 粘質土 |
| 8 | フ | 黄褐色 | (2.5Y 4/6) | 粘質土 |
| 9 | 明 | 黄褐色 | (2.5Y 6/6) | 粘質土 |

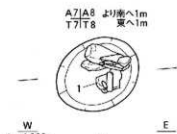
第212図 SA3031 平面図



- 1 黄褐色 (2.5Y 5/4) 粘質土
2 にぶい黄色 (2.5Y 6/4) 粘質土
3 オリーブ褐色 (2.5Y 4/6) 粘性砂質土



第213図 SA3031・EP1 遺物出土状況図



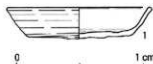
- 1 黄褐色 (2.5Y 5/6) 粘質土
2 黄褐色 (2.5Y 5/4) 粘質土



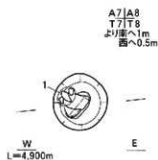
第215図 SA3031・EP3 遺物出土状況図



第214図 SA3031・EP1 出土遺物



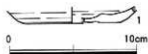
第216図 SA3031・EP3 出土遺物



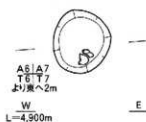
- 1 にぶい黄褐色 (10YR 5/4) 粘質土
2 黄褐色 (2.5Y 5/4) 粘質土
3 オリーブ褐色 (2.5Y 4/6) 粘質土



第217図 SA3031・EP4
遺物出土状況図



第218図 SA3031・EP4 出土遺物



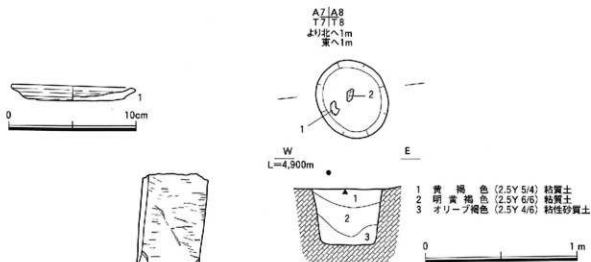
- 1 にぶい黄色 (2.5Y 6/4) 粘質土
2 黄褐色 (2.5Y 5/3) 粘質土



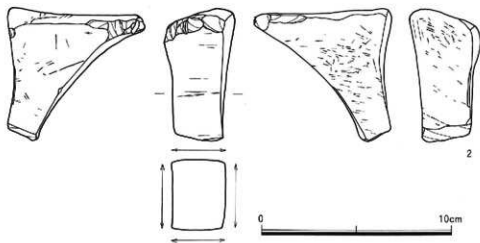
第219図 SA3031・EP6 遺物出土状況図



第220図 SA3031・EP6 出土遺物



第221図 SA3031・EP8 遺物出土状況図



第222図 SA3031・EP8 出土遺物

方向はN-23°-Eである。南東隅は調査区外に延びている。

土層 2～4層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

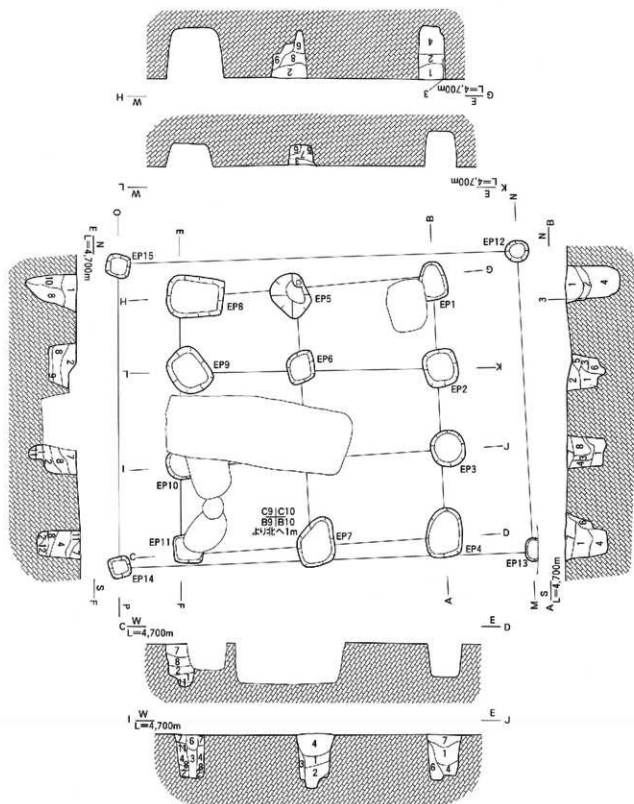
時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

29号掘立柱建物跡 (SA3029) (第207～209図)

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・βⅢ・Q1・2・R1・2グリッド

形態・規模 梁間2間(3.9m)×桁行3間(5.0m)、床面積約19.5m²の側柱建物である。建物の主軸方向はN-7°-Wである。

土層 2～4層に分層され、根石などは検出されていない。



- | | | | | | | | | |
|---|--------------------|-----|---|-------------------|-----|----|--------------------|-----|
| 1 | オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) | 粘質土 | 5 | 灰 黄 色 (2.5Y 6/2) | 粘質土 | 9 | 黄 褐 色 (2.5Y 5/6) | 粘質土 |
| 2 | オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) | 粘質土 | 6 | にがい黄 色 (2.5Y 6/4) | 粘質土 | 10 | 暗 灰 黄 色 (2.5Y 4/2) | 粘質土 |
| 3 | 黄 褐 色 (2.5Y 5/4) | 粘質土 | 7 | 黄 褐 色 (2.5Y 5/3) | 粘質土 | 11 | にがい黄 色 (2.5Y 6/3) | 粘質土 |
| 4 | 暗オリーブ褐色 (2.5Y 3/3) | 粘質土 | 8 | オリーブ褐色 (2.5Y 4/6) | 粘質土 | 12 | 暗 灰 黄 色 (2.5Y 5/2) | 粘質土 |

0 2m

第223図 SA3032 平面図(1)